



「長崎っ子の心を見つめる教育週間」

6月27日(月)～7月1日(金)の1週間、西大村中学校の生徒一人一人が自分の心を見つめる教育週間でした。6月28日(火)にはメディア講話、6月30日(木)には道徳の授業参観も実施されました。

この教育週間の最初にあった校長講話では、スライドを使って、『輝く命』『尊重する命』について話しをしました。そのスライドの一部を紹介しますので、どんな話があったのか、ご家庭でも話題にいただければ幸いです。



人
一
叩
命

1

*

私の弟



向陽幼稚園、中央小学校(放虎原小学校)、西大村中学校、鎮西高等学校
趣味：テニス、野球、バンド演奏、ワカサギ釣り

耳が不自由な、障がい者

2

*

人は、命を育み、
奇跡的に生まれてきた命を愛おしみ、
大切にします。

誰にでも、
あなたを愛おしく思っている人が
いるのです。

3

想像してください、
誰かを傷つけると、
その後、どうなるのか……。

誰かを傷つけると、
その背後に、何倍もの人が
悲しみを感じているのです。

4

どんなに強烈な『衝動・欲望』があろうとも、
人を苦しめたり、人の命を奪ったりという行為は、
人間として絶対にしてはならない。

どんなに衝撃的な『つらい』ことがあろうとも、
自分の命を絶つという行為も
絶対にしてはならない。

失われた命は、決してよみがえることはありません。

5

ゆびきりげんまん



一生懸命に
生きて、輝く
「命」

互いに守り、
尊重する
「命」

未来につなぐ「命」

6

*

生徒一人一人の心に、『自他の「命」を大切にする。けっして傷つけない』という強い決意が育まれていることに期待しています。

しかし、思春期子どもたちです。心の葛藤や揺れ、不安定なときもあります。怒りや反抗が行動に出してしまうこともあるかもしれません。そのときは、大人がそっと寄り添い、思いに共感してあげることが大切ようです。大人(教師や保護者)の寄り添い方を考える教育週間でもあります。

